

平成 27 年 1 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社アイフィスジャパン
代表者名 代表取締役 大沢 和春
(コード番号：7833 東証マザーズ)
問合せ先 管理担当取締役 野口 祥吾
(TEL. 03-5275-6334)

「IPO 取材ノート」の Research Manager への掲載開始のお知らせ

株式会社アイフィスジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役：大沢和春、以下「当社」）は、1 月 26 日（月）より、株式会社キャピタル・アイ（本社：千代田区、代表取締役：高田一子、以下「キャピタル・アイ」）が発行する「IPO 取材ノート」について、当社が運営するレポート閲覧サービス「Research Manager」にて掲載を開始しました。

キャピタル・アイは日本の資本市場の活動を報道するメディアであり、同社のサービスであるキャピタルアイ・ニュースは、国内・海外での発行体による資金調達や金融機関の引き受け活動および投資家動向を中心に関連分野の情報発信を行っており、資本市場関係者の間で幅広く購読されています。

キャピタルアイ・ニュースの主な購読者は、証券会社や発行体など、資本市場の関係者が中心ですが、そのコンテンツの 1 つである IPO 関連の情報は、機関投資家やアナリストなど流通市場関係者も活用できる内容となっております。

当社とグループ会社であるキャピタル・アイが協業し、既存のサービスに新たな付加価値が加わります。顧客の満足度向上と新規顧客開拓に寄与できる取り組みにしたいと考えております。

※本件の詳細については添付資料をご参照ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社アイフィスジャパン 経営管理グループ
IR 担当 若林 TEL 03-5275-6334

平成 27 年 1 月 28 日

報道関係者各位

株式会社アイフィスジャパン

「IPO 取材ノート」の Research Manager への

掲載開始のお知らせ

～グループ連携により新しい付加価値を提供～

株式会社アイフィスジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役：大沢和春、以下「当社」）は、1 月 26 日（月）より、株式会社キャピタル・アイ（本社：千代田区、代表取締役：高田一子、以下「キャピタル・アイ」）が発行する「IPO 取材ノート」について、当社が運営するレポート閲覧サービス「Research Manager」にて掲載を開始しました。

キャピタル・アイは日本の資本市場の活動を報道するメディアであり、同社のサービスであるキャピタルアイ・ニュースは、国内・海外での発行体による資金調達や金融機関の引受活動および投資家動向を中心に関連分野の情報発信を行っており、資本市場関係者の間で幅広く購読されています。

キャピタルアイ・ニュースの主な購読者は、証券会社や発行体など、資本市場の関係者が中心ですが、そのコンテンツの 1 つである IPO 関連の情報は、機関投資家やアナリストなど流通市場関係者も活用できる内容となっております。

当社とグループ会社であるキャピタル・アイが協業し、既存のサービスに新たな付加価値が加わります。顧客の満足度向上と新規顧客開拓に寄与できる取り組みにしたいと考えております。

【IPO 取材ノートの概要】

IPO 取材ノートでは、新規上場銘柄について下記のような内容を記事・レポートとしてまとめています。

① 会社概要

新規上場会社の基本情報、事業の内容、ビジネスモデルおよび主要顧客など。

② 株式募集の概要

需要倍率、投資家別の販売アロケーションおよび投資家動向など。

③ 条件決定の背景

発行・売出価格の決定に際して考慮した事項や類似銘柄との比較など。

④ 上場の目的等

当該企業が上場するにあたっての目的、資金使途および上場までの経緯。

⑤ 上場会見

上場会見の記事。事業の特徴や今後の成長戦略、配当方針など。

Research Manager へ掲載するレポートのイメージは以下をご参照ください。

【銘柄紹介】



キャピタルアイ・ニュース
2014年12月22日 12時18分

IPO取材ノート

MRT (6034)

医師向け外勤紹介サイト、上場で会員数増加を謳う

<問い合わせ先>
株式会社 キャピタルアイ
TEL:03-6264-4710 (代表)
E-mail: info@capital-eye.co.jp
<http://jcs.eyebiz.net/medicarecompany.html>

MRTは18日に東京証券に上場した、26日に東京マザーズへ上場する、以下は上場前のインタビュー。

コード 6034
立上り価格 40 万円
商品数 25 万種
公費・売価差 600 円
公費・売価差 1 億 4000 万円
上場決定 11 月 21 日
条件決定 12 月 17 日
上場時価総額 182 億 600 万円
ブックランナー 大和

東京大学医学部付属病院の医師が相互に外勤を紹介する互助組織が母体。この仕組みをシステム化することを目的に、2000 年にメディカルリサーチアンドテクノロジーを設立した。2012 年 3 月に医師業務サポートシステム向けグループウェアの「ワーク領域」を提供開始している。

アロケーションは一般向けメール、機関投資家と化した。ファミリーデパートは、一般ユーザーの400名程度、機関投資家で170名程度いる。会社では300名ほどの営業の人数があった。ローンショーは11月25日～12月5日に先行し、番組からIPOのロードショーに参加する投資家を中心に35社程度を招いた。

MRTは2014年最悪の上場相場、今年に入社投資家を増やした企業のIPOが頻年ない場に入り売上を足さなかつた。非常勤医師の紹介と提携事業「ブックランナー」であるところから、広（関心）を惹きた。バリュエーションの結算、型定価の価格（720万円以上）を支持する向きが一定数集まったため、後者は1750-4000円に価格を叩いた上場でブックランナー、非常勤医師サポートシステム（2171万）とJACS Real（211244）などの人材紹介会社のほか、医師向け情報サイトのエムスリー（2413）を繋げる向もあった。各社のPERはJACSが32、JACSが21、M3が75万、MRTの2015年3月期平均PER公開価格ベースは15.94倍。

医師の派遣や人事は、大学病院の医師が主体として決定してきたが、医師人事統制力の緩和や医師不足により人材の流動性が高まっている。発行体のサービスの母体である東京大学医学部付属病院の互助組織が、医師が相互に外勤を紹介する仕組みである。MRTが提供しているシステム化した。東京大学のほかにも、医師の勤務先やチームなどのコンプレックスを提供する。「医師の勤務先」が常務取締役の個人会社でも持っているが、外勤紹介（非常勤医師紹介）はほかにも例を見ない（発行体）。

国内の東京大学医師は全体の16.3%。医師の地方偏在によって医師が不足している医療機関や、患者数によって院内稼働の費差が。非常勤医師へのニーズは高まっている。医師も、臨床研究や一時的なキャリアアップに外勤に求められ始めている。外勤という外勤が一つの大きなポイントである。医師の勤務先やチームなどのコンプレックスを提供する。「医師の勤務先」が常務取締役の個人会社でも持っているが、外勤紹介（非常勤医師紹介）はほかにも例を見ない（発行体）で、相当する約1万5000人が専従医師、上場の約10名は専従の向上（発行体）で、

【上場会見】

CAPITAL EYE

キャピタルアイ・ニュース

2014年12月19日 17時43分

IPO取材ノート

メタウォーター (9551)

メタウォーターの本店社長、「顧客 視野にタイムリーな

上場」

<インタビュー>

株式会社 キャピタル・アイ

TEL:03-6826-4710 (代表)

E-mail: info@eye.co.jp

<http://eye.co.jp/press/company.html>

19日、メタウォーターが東証1部に上場を果たした。上場価格は1340円(1株)で、同日午後2時5分、株価は2240円だった。同社は、日本ガスおよび東京電機システムズがそれぞれの水環境事業を吸収合併したのを合併して生まれた、浄水場や下水処理場の各種プラントの設計や施工、設備管理を手掛ける、日本五友商事が東京証券取引所に上場発覚を行った。

一応価格が公開価格を下回った感想は

本店社長 真壁に受け止める。電気・ガス業では初めての水環境を手掛ける企業。事業を通して社会貢献に取り組む。今後、ステークホルダーの期待に応えられるように事業推進をする。

一ながら、上場するのとか

真壁社長 日本は人口の減少に伴い水の需要が減っている一方で、地方都市では水量不足で設備を維持することが難しく、高度成長期に伴った設備が老朽化しているのが現状だ。こうしたなか、公益施設(コンセプション)が盛んになり、

本社には既にPFIの実績があるが、今後も継続的に成長するためには電業に特化する企業になる必要がある。そのためには確実な収入が得られない部分があるため、戦士の提携や M&A も視野に入れている。また、コンセプション案件が得意な場合、今後需要増を言い上げるため、近い将来に10~15% 乗取率の改善が必要になる。

M&A や資金調達の必要性から、この時期に上場したのはタイムリーと言えるだろう。

一M&A や海外展開の予定は

西尾副社長 国内外で M&A を行う予定。100 億円規模の買収もあり、資本提携を検討している。海外展開については、本社の高い技術を受け入れられる先進国ターゲットに、長期的に狙っている。

一臨みは

本店社長 国内の水環境建設の4割に相当する2000施設に機械・電気設備を納入した実績がある。これは日本ガス・東京電機材料から蓄積したノウハウによるもの。今は、水に関する機械設備と電気設備を統合する目的から選定しており、自らが関わった施設管理を積極的に提供することができる。

西尾副社長 今後の案件数にもよるが、エンセグロの市場は2020年代に1500億~2000億円にまで伸びる。当社の持つコンソーシアムにてシェアを確保する。

一配当政策は

本店社長 配当性向は20~30%をAPFに設定配当を先行。

[キャピタルアイ・ニュース 赤田 早織]

◆株式会社アイフィスジャパンについて

上場市場：東京証券取引所 第二部（証券コード：7833）

代表者：代表取締役 大沢和春

所在地：東京都千代田西神田3-1-6 日本弘道会ビル4F

設立：平成7年5月

資本金：3億8,201万円（平成25年12月31日現在）

従業員数：連結 138 名、単体 69 名（平成 25 年 12 月 31 日現在）

主な事業の内容：金融情報サービス

- ・証券調査レポートの電子配信サービス
- ・企業業績予想およびコンセンサスデータの提供サービス
- ・金融・財務関連ドキュメントの制作およびプリンティングサービス

ホームページ：<http://www.ifis.co.jp/>